科目 数学Ⅱ

							担当者名 片岡 真吾・ 山地 美夢		
教 科		数 学	単位数	4	学科・学年		全学科・3年 (選択)		
使用教科書 改訂版 新高校の数学Ⅱ(数研出版)			副教材等		ポイントノート数学Ⅱ				
授業の概要	1・2年生で数学 I を学習した生徒の中でさらに 数学を学習したい生徒を対象に、数学 I の内容を発 展、拡充させて、複素数と方程式、図形と方程式、 指数関数・対数関数、微分法と積分法について学習 します。			を発 式、	学習の目において理解を深めます。 2 各分野の基本的な知識の習得や技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を養います。 3 学習した内容を新たな課題の解決に活用しようとする態度を育てます。				
	学 習 内 容				評価の観点・評価方法等(※学期ごとに下記の項目で評価します。)				
1 学期	1 複素素と方程式 (1) 式の計算 ・展開・因数分解、二項定理、分数式の計算 (2) 複素数と方程式 ・複素数の四則計算、2次方程式の解と判別式 及び解と係数の関係、整式の除法、因数定理、 高次方程式 2 図形ととませ			別式	関心・意欲・態度	【趣旨】 ・式と証明・高次方程式、図形と方程式、指数関数・対数関数、微分法と積分法の考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。 【評価方法】 ・授業中の態度、課題・ファイルの提出状況等で評価します。 【割合】 ・15%			
	<ul><li>(1) 点と直線 ・直線上・平面上の点、直線の関係</li><li>(2) 円 ・円の方程式、円と直線の関</li></ul>			的 お 記 記 記 記 記 記 記 に に に に に に に に に に に に に		文学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り、多面 と的に考えたりすることなどを通して、式と証明・高次方 別形と方程式、指数関数・対数関数、微分法と積分法にお に的な見方や考え方を身に付けている。			
2 学期	(2) 対数関 ・対数の 4 微分法と (1) 微分法 ・微分係	女 広張、指数関数のグラフ 女 生質、対数関数のグラフ、	「ラフ、常用対象 関数の増減、「		え方数学的な技能	分法と積 論の方法 【評価方法】 ・定期考査 【割合】	引・高次方程式、図形と方程式、指数関数・対数関数、微 責分法において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推 などの技能を身に付けている。 近代授業中の取組状況で評価します。		
3 学期	(2) 積分法 • 不定積	(2) 積分法 • 不定積分、定積分、面積		_	知識·理解	分法と積 知識を貞 【評価方法】	引・高次方程式、図形と方程式、指数関数・対数関数、微 資分法における基本的な概念、原理・法則などを理解し、 どに付けている。 近、小テスト等、授業の取組状況で評価します。		
					その他	<ul><li>学年の評す。</li></ul>	価は、1学期、2学期、3学期の評価を総合して行いま		
課題提出物質	2 教科書の 3 考査後に、	ファイルを提出しま 問題、課題プリント 考査問題の訂正を 冬休みの課題として	・を随時提出した プリントにま	とめて			ます。		

等

- 担 数学Iを履修した人を対象として、少し発展的な内容にも触れながら数学的な見方や考え方の素晴らしさ、面白さを味わっ てください。 当
- 者 2 数学は全ての内容につながりがあるので、1時間1時間の授業を大切にしてください。特に、欠席すると次の授業で困るこ とになるので気を付けてください。 ょ
- ŋ 学習で活用したプリント類はファイルにきちんと整理し、テスト勉強の時などに活用できるようにしてください。